

日高町

9339 山澤 佳浩

1. 地名の由来

日高山脈に囲まれた山岳地域にある町であり、かつては国鉄富内線の終着駅日高町駅があった。日勝峠のある町でもある。地名の由来は日高山脈の山麓に位置することから命名されたといわれている。

2. 歴史

2.1 沿革

1919 年、沙流郡幌去村（ほろさる、現平取町）から分村し、沙流郡右左府村（うさっぷ）となる。

1943 年、日高村に改称し、同年には村内の地名を

右の表 1 の様に再編する。1962 年、町制が施行され、日高町となる。2006 年（平成 18 年）3 月 1 日、沙流郡門別町との廃置分合（新設合併）により設置される。

表 1 村内の地名の再編

右左府 → 日高

岡春部（おかしゅんべ） → 富岡

三菜頃（さんなころ）・岩内 → 三岩

千呂露（ちろろ） → 千栄

出典：ウィキペディア

2.2 市町村合併

旧日高町・門別町の 2 町による飛び地合併の協議を経て、2006 年（平成 18 年）3 月 1 日に廃置分合（新設合併）され、新たに「日高町」となった。町の面積の半分以上が飛地となっている。また、ほぼ同時期にあとから誕生した同支庁内新ひだか町とは関係ない。

2.3 町章

日高の頭文字「ひ」をモチーフとし、緑と青色部分は日高町を表し、二つの町が手を取り合い、一つの活力ある町へ飛躍しようと突き進む様子を表現している。上部の赤い球はそんな環境のもとでいきいきと暮らす人々の笑顔や、輝く太陽を象徴している。また、カラーとしては広大な土地や山脈・海、そして清らかな川・せせらぎをイメージする緑・青をメインとした構成である。

図 1 日高町町章

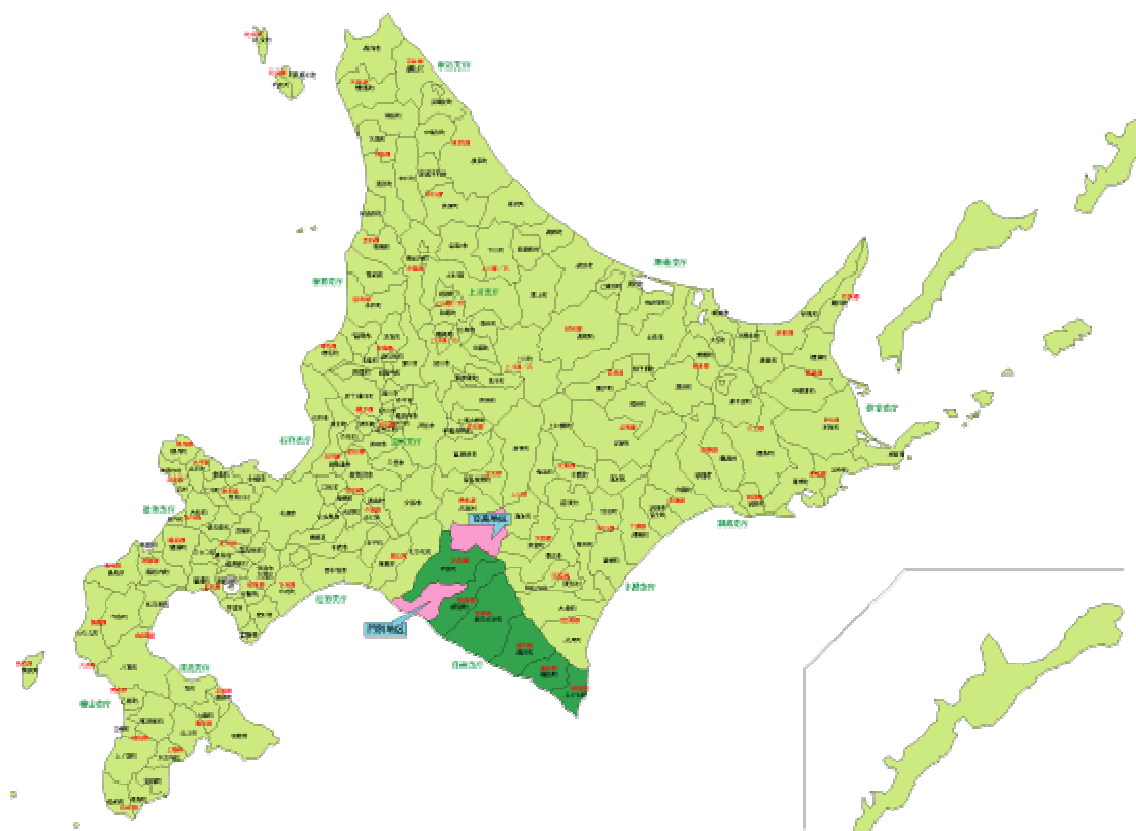


出典：日高町役場 HP

3. 位置・地勢

日高町は、北海道日高管内の西部に位置しており、日高町のある北東から門別町のある南西に流れる「沙流川」の源流から下流にかけて構成されている。北東部は北海道の屋根

図 2 日高町地図（北海道内での位置）



出典：日高町役場 HP

といわれる日高山脈がそびえ、周囲を大小の山岳が取り巻いている。南西部はなだらかな地形をなしており、沙流川、門別川、波恵川、慶能舞川、賀張川、厚別川が太平洋にそそいでいる。町域は、間に平取町を挟んだ「飛び地」になっており、本庁と総合支所間の距離は約 65 km で、車で約 1 時間の行程となっている。また、胆振・上川・十勝の 3 つの支庁に接し、日高支庁の玄関口となる町である。南部は太平洋に面する。東部のほとんどは森林である。日高地区を東西に走る国道 274 号は、道央と道東を結ぶ幹線道路のため、交通量が多い。両脇を森林に囲まれた道路で「石勝樹海ロード」と呼ばれる。

図 3 日高町地図（日高支庁から見た場合）



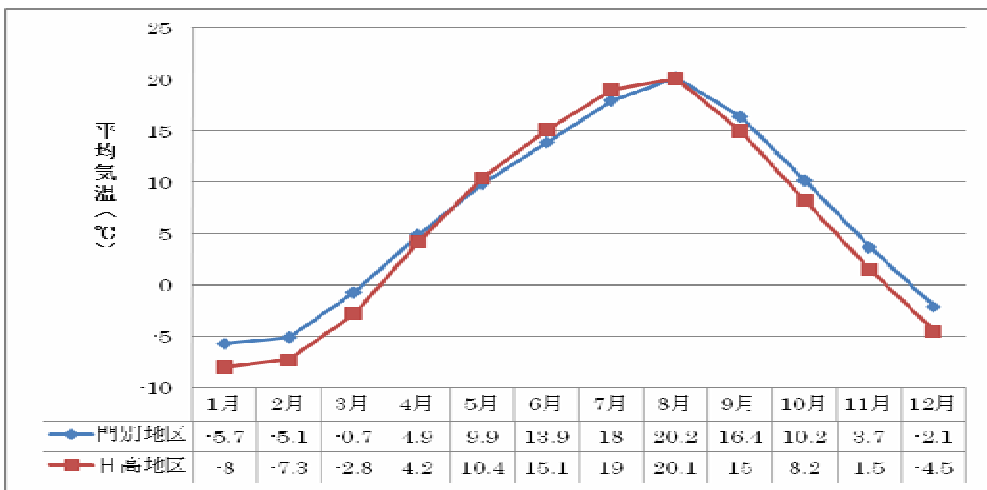
出典：日高町役場 HP

総面積は 992.67km² であり、うち門別地区が 428.73km²、日高地区が 563.94km² となっている。緯度と経度は飛び地のため日高地区と門別地区の 2 つに分けられる。門別地区（旧門別町）は北緯 42 度 28 分、東経 142 度 4 分であり、日高地区（日高町）は北緯 42 度 33 分、東経 142 度 8 分である。

4. 気候

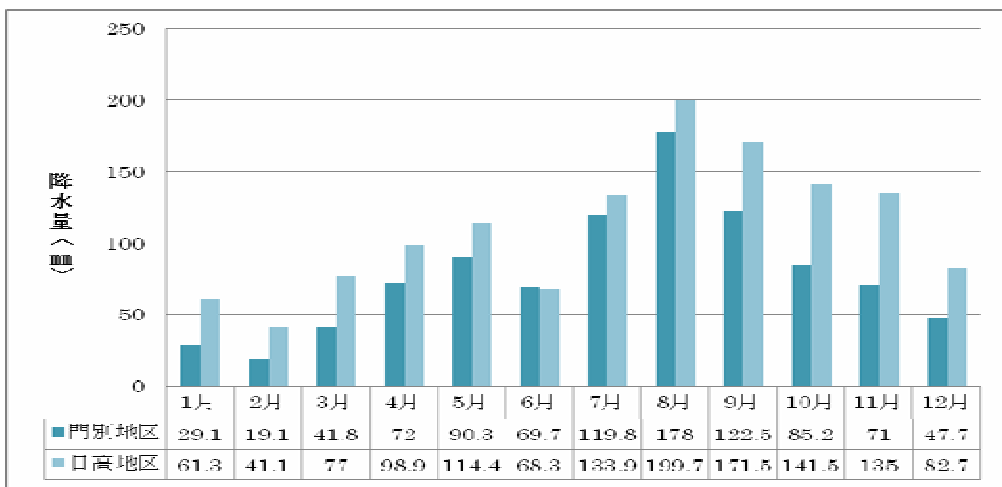
北側に位置する日高地区（日高町）は北海道の屋根といわれる日高山脈がそびえ、内陸気候圏に属しているため寒暖の差が大きく、冬期には 1m 前後の積雪が見られる。一方で南側に位置する門別地区（旧門別町）は太平洋に面した海洋性気候のため、積雪も少なく比較的温暖な気候となっている。

図 4 門別地区と日高地区の平均気温の推移



出典：気象庁 HP

図 5 門別地区と日高地区の降水量の推移

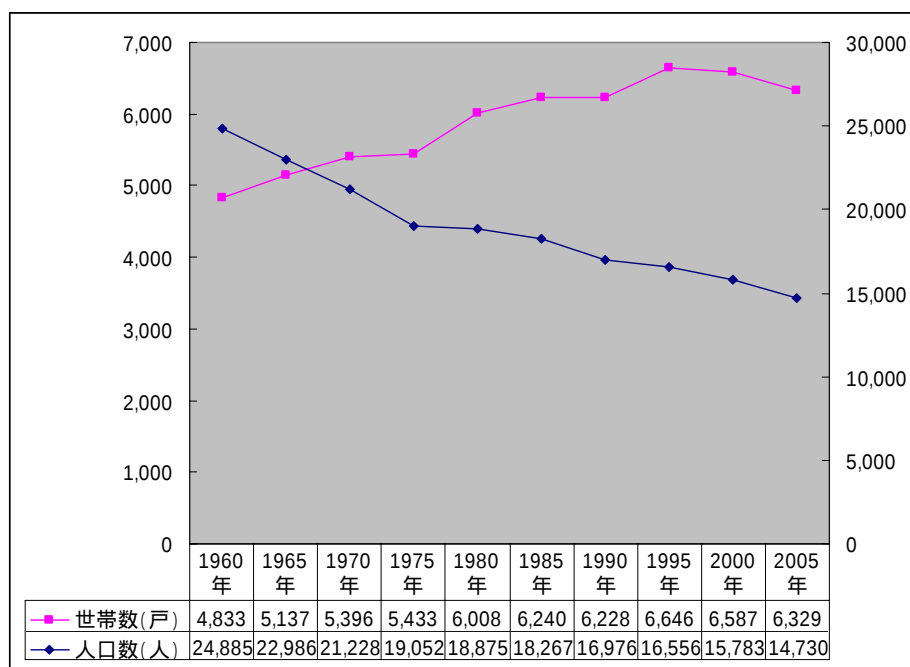


出典：気象庁 HP

5. 人口・世帯数推移

総務省の国勢調査によると、世帯数は1960年から増加していき、1995年の6646戸がピークでその後は少し減少したものの、2005年には6329戸であり、1960年からおよそ1500戸も増加していることがわかる。一方で人口数は1960年の24885人から年々減少の一途をたどり、1975年には20000人を切り、さらに2005年には15000人を切り、1960年に比べておよそ10000人も減少していることになる。このことにより、1世帯あたりの人口も1960年では5人だったが、2005年には2.3人と半分を切っており、核家族化・少子化が進んでいるのが推測できる。なお、このグラフの人口数と世帯数は日高町と旧門別町の人口と世帯数をそれぞれ合わせた数となっている。

図6 人口・世帯数推移



出典：総務省統計局

6. 産業と産業別人口

図7 門別ししゃも祭り

6.1 地区別の主産業～門別地区

門別地区は稲作、畑作、酪農、馬産、漁業などが主産業となっている。特に、漁業においてはししゃもの養殖がさかんに行われており、毎年10月下旬には門別ししゃも祭りが開かれ、ししゃものサービス販売や物産販売の他、生ししゃものつかみどりやししゃもの重量あてクイズ、お楽しみ抽選会などの楽しいイベントが開催されている。



出典：折込チラシサイト札幌 Blog

6.2 地区別の主産業～日高地区

日高地区は畑作、林業などが主産業となっている。日高町役場HPによると、林業については「災害に強い森林づくり・自然環境を大切に育てる林業」を目標に、日高町森林施行計画に基づき、森林環境保全整備事業を中心に着氷被害地の造林を進めるとともに、森林状況を把握しつつ、利用可能な資源については人工林の除間伐を推進し、環境対策にも意を注ぎながら適正な森林整備を実施すると述べている。また、被災を受けた山地については、住民生活や生業に配慮し、北海道や北海道森林管理局と連携しながら、山地防災・治山事業を積極的に実施する方針を掲げている。

6.3 産業別人口

日高町の総面積 992.67km² のうち、77.4%の 768.57 km² が林野面積であり、第1次産業がさかんに行われていることがわかる。林野面積は北海道内の市町村のうち11番目に広いことになる。人口は第1次産業が2448人、第2次産業が1237人、第3次産業が4185人となっている。

7. 農業

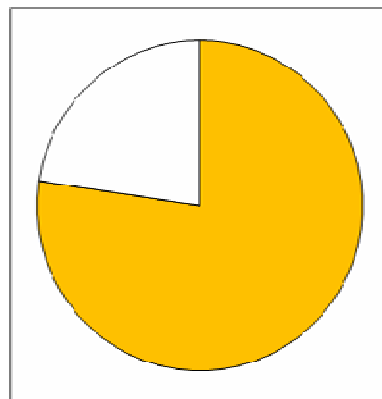
7.1 稲作・畑作

日高町の総世帯数 6329 戸（2005 年）のうち農家数は 510 戸（2005 年）となっている。そのうち、自給的農家は 46 戸であり、残りの 464 戸は販売農家となっている。耕地面積は 9610ha（2005 年）であり、そのうち畑は 8310ha、田は 1300ha であり、畑作が中心に行われていることがわかる。主に多く作られているのは飼料作物の牧草であり、作付面積は 8160ha、収穫量は 261500 t である。飼料作物以外では、水稻、てんさい、ねぎ、トマトなどがある。

7.2 畜産

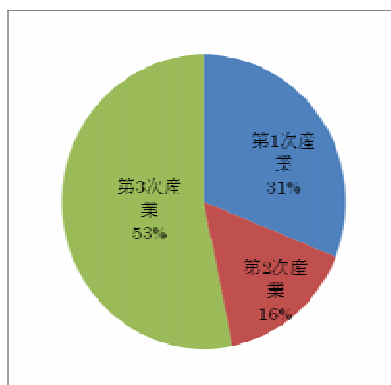
また、日高町では畜産もさかんに行われており、特に乳用牛は日高町の農業産出額の 20%を占めている。その

図 8 林野率（2005 年）



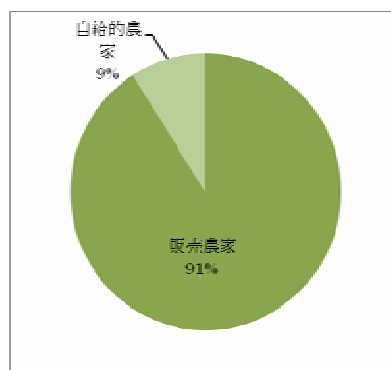
出典：農林水産省「市町村の姿」

図 9 産業別人口の割合（2005 年）



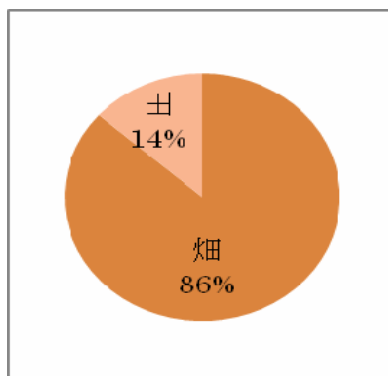
出典：農林水産省「市町村の姿」

図 10 農業の種類（2005 年）



出典：農林水産省「市町村の姿」

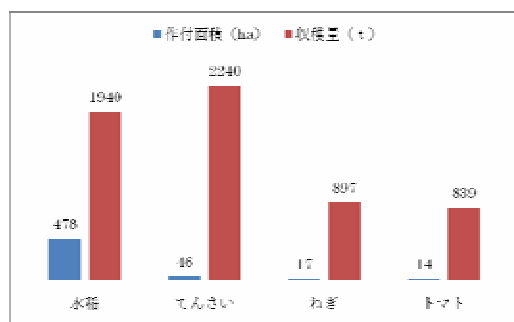
図 11 田と畑の割合（2007 年）



出典：農林水産省「市町村の姿」

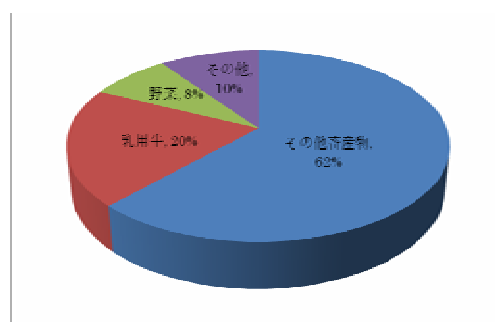
他の畜産物（主に養蚕）も 62％を占めており、畜産物だけで 8 割以上も占めていることがわかる。

図 12 作付面積と収穫量（2006 年）



出典：農林水産省「市町村の姿」

図 13 農業産出額の内訳（2006 年）



出典：農林水産省「市町村の姿」

8. 観光

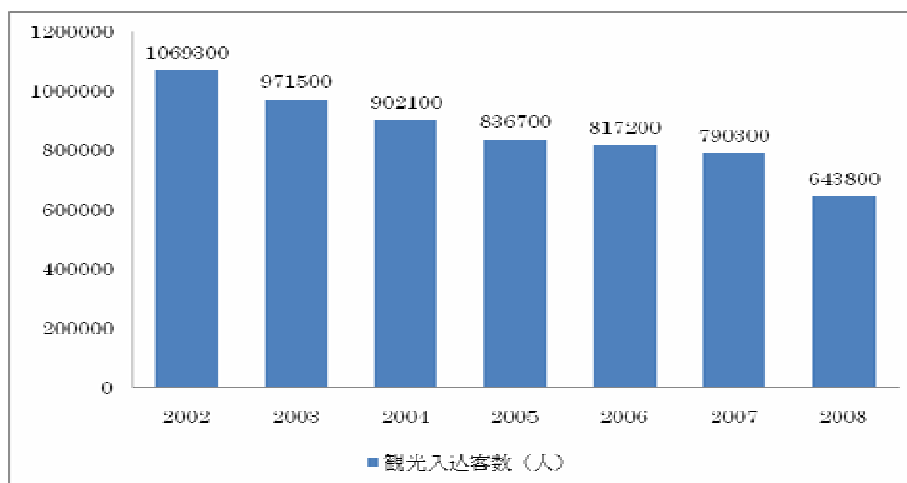
8.1 観光に対する取り組み

日高町役場 HP によると、観光については、ホッカイドウ競馬の開催日程の大半が門別競馬場で実施されることになり、新たな観光客の入り込みが期待されるため、門別競馬場を活かした「日高町観光活性化計画」の整備を進め、事業の実現に向けた体制づくりを推進し、特色のある日高町の観光づくりに努めるとともに、既に取り組みを進めている「日高地区観光再開発ビジョン」については、日高山脈をキーワードとした特色のある観光メニューづくりに努めていくと述べており、これらの地域資源を最大限に活用し、有機的な連携が図れるよう進めていく方針である。

8.2 観光入込客数

日高地区と門別地区の合わせた数となっている。2002 年では 1000000 人を超えていたが、毎年減少の一途をたどり、2008 年には 643800 人とおよそ 400000 人も減っていることがわかる。人口の減少により、町自体があまり栄えなくなってしまったのが原因なのか。

図 14 観光入込客数の推移



出典：北海道庁 北海道観光入込客数調査報告書

8.3 名所

8.3.1 門別競馬場

日高管内をはじめ、馬産地関係者の熱意と力を結集して 1997 年 12 月に開設される。地方競馬では大井競馬場（東京都品川区）に並ぶ最大規模を誇る。長い直線の広々としたコースとコンパクトな施設が特徴の競馬場で、優駿馬たちが繰り広げる熱い闘いを間近に堪能することができる。2009 年 5 月からはナイトー競馬「グランシャリオナイトー」が行われている。

図 15 門別競馬場

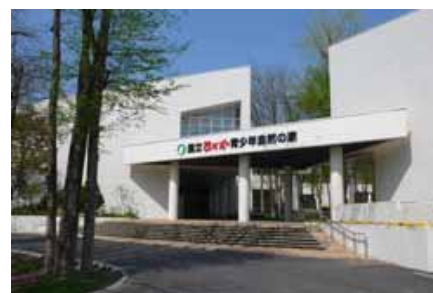


出典：地方競馬情報サイト競馬場紹介

8.3.2 国立ひだか青少年自然の家

国立ひだか青少年自然の家では、豊かな自然と充実した施設で、自然体験やスポーツ・アウトドア活動、クラフトなどの体験活動や各種研修などを行うことができる。活動に必要な用具の貸し出しや研修室、食堂も完備しており、学校利用のほか、成人の利用も可能で、家族やサークル、企業などの研修での利用もできる。

図 16 国立ひだか青少年自然の家



出典：マップファン ウェブ

8.3.3 日勝峠

「石勝樹海ロード」こと国道 274 号線の最大の難所である。標高は 1023m と高く、勾配やカーブがかなりきつく、ドライバーにとってはやや厳しいルートであるが、札幌と帯広・釧路を結ぶ最短コースとなっているため、交通量は多い。日高側と清水側では、道路のよ

図 17 日勝峠第 1 展望台

うすも風景もまったく違う。展望台・レストハウスなどの観光施設は、頂上付近ではなく、清水側の 6 合目付近にある。展望台から眺める十勝平野の風景はなかなかのものであり、晴れた日には遠く帯広市街まで望むことができる。



参照ホームページ

Wikipedia : <http://ja.wikipedia.org/wiki/>

気象庁 HP : <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

総務省統計局 : <http://www.stat.go.jp/>

国立日高青少年自然の家 HP : <http://hidaka.niye.go.jp/>

北海道庁北海道観光入込客数調査報告書 :

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/301-irikomi/irikomitop>

カムイミンタラ 日高支庁 : <http://kam-r.sub.jp/ainu/hidakasi.html>

日高支庁 HP : <http://www.hidaka.pref.hokkaido.lg.jp/ts/tss/townpage.htm>

日高町役場 HP : <http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/>

農林水産省「市町村の姿」:

<http://www.tdb.maff.go.jp/machimura/map2/01-04/601/economy.html>

地方競馬情報サイト 競馬場紹介 : <http://www.keiba.go.jp/guide/racecourse/monbetu.html>

オホーツクの峠データファイル :

<http://www.geocities.co.jp/SilkRoad-Desert/7248/data/nissho.html>

マップファン ウェブ :

<http://www.mapfan.com/cocomemo/cmspotdetail.cgi?F=srch&SPOTCODE=S0HRK2CI5>

北海道発・北海道ポータルサイト なまら北海道 : <http://www.namara-hokkaido.net/>

折込チラシサイト札幌 Blog : <http://chirashisapporo.blog40.fc2.com/blog-entry-19.html>

出典：オホーツクの峠データファイル